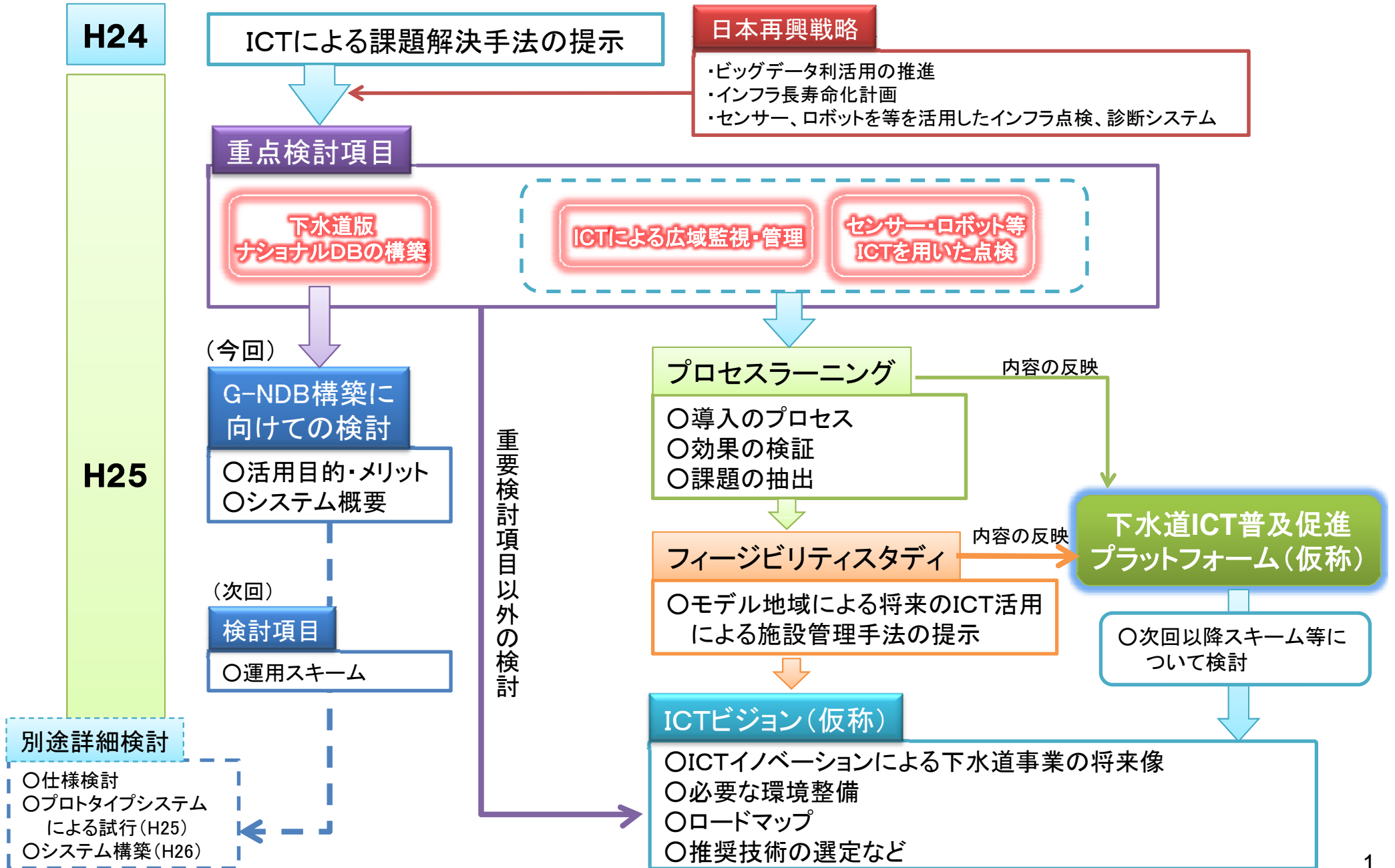


今後の進め方

検討会の進め方



プロセスラーニング(成功事例検証)について

○センサーやクラウドによる遠隔監視を用いた、効率的な監視を行っている都市の事例について、導入プロセス、効果、課題等を調査

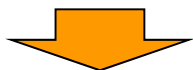
長崎市



- 西部下水処理場にて4つの下水処理場の遠方監視を実施している(実証的に運用中)
- 大平、脇岬、神浦、伊王島、高島浄化センターでWeb監視を実施
- マンホールポンプ150基を設置し遠方監視を実施中

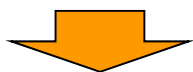
<ニーズ(想定)>

- 市町村合併などで多種多様な下水道施設が広範囲に渡り混在
- 適切かつ効率的な維持管理が必要



<シーズ(想定)>

対応するシーズとして、AR・遠隔監視
・センサーネットワーク・クラウド等
を選定

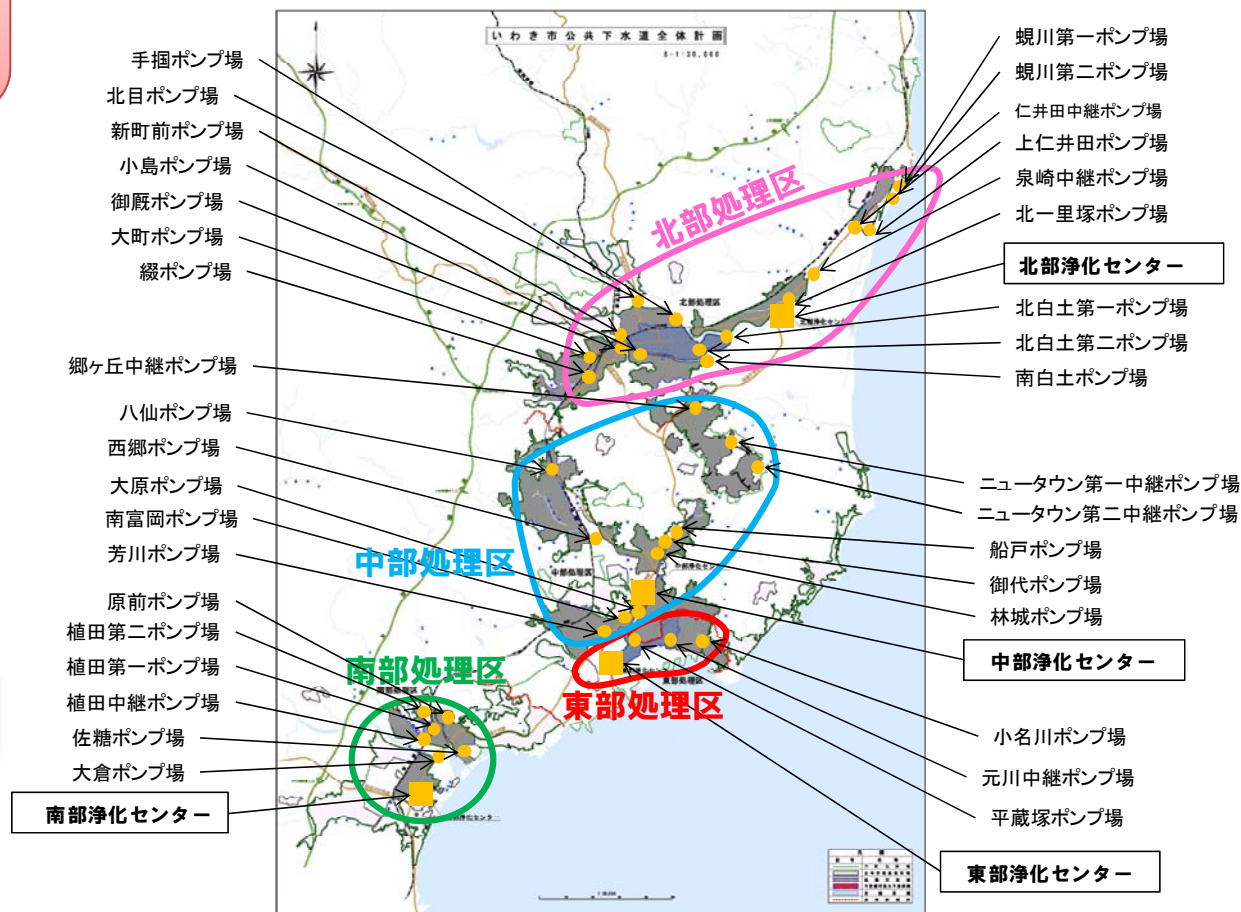


<フィージビリティスタディ結果評価>

ICT導入の効果を
定性・定量的に評価

福島県いわき市

【施設数】(いわき市)
下水処理場 4か所
ポンプ場 36か所



下水道ICT普及促進プラットフォーム(仮称)構想

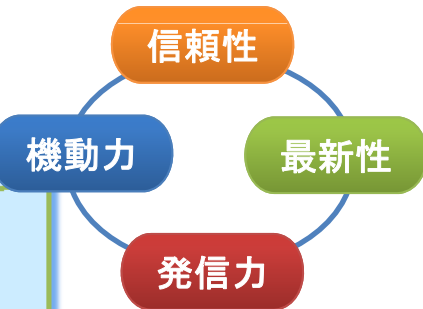
ICT導入のボトルネック (下水道ICTユーザーにとって)

- 技術の理解が困難
 - 導入事例の蓄積が乏しい
 - 導入効果の判断が困難
 - 技術革新が早く、最新動向の把握が困難
 - ICT企業との接点が少ない
- ➡ 最新のICT導入が迅速に進んでいない現状

迅速なICT導入をサポートする仕組みが必要ではないか

下水道ICT普及促進プラットフォーム(仮称)

- 下水道界にとってのB/Cが標準化された説明資料の提供
- 第三者による簡易な審査・推奨
- 導入後の実績データの提供
- 技術の最新情報の提供



ICT企業等

- 最新技術説明資料
 - 技術開発動向情報
 - 導入実績
 - ソリューション提案
 - B/C試算 など
- ※規定のルール・様式に沿って作成・登録

- ・随時情報登録
- ・審査依頼

- ・Web,SNS情報発信
- ・研修会 など

情報共有・コミュニケーションの円滑化

自治体・下水道関連企業等

- ICTに関する最新情報の取得
 - 明快な説明資料の取得 など
- ➡ ICT導入に関する意思決定の円滑化・迅速化

H25/7/8

第4回検討会

- ・検討会の進め方
- ・下水道ナショナルデータベース(仮称)の検討
- ・今後の検討方針



H25/9月

第5回検討会

- ・プロセスラーニングについて
- ・下水道ナショナルデータベース(仮称)の運営スキーム検討



H25/12月

第6回検討会

- ・フィージビリティスタディについて
- ・ビジョンの骨子作成



H26/3月

第7回検討会

- ・ビジョンの提示

